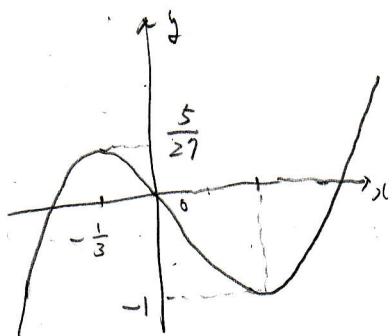


2つの関数 $f(x) = x^2 + a$, $g(x) = x^3 - x$ がある。曲線 $y = f(x)$ と曲線 $y = g(x)$ が2つの共有点をもつときの定数 a の値を $a_1, a_2 (a_1 < a_2)$ とするとき, $a_1 = \boxed{\quad}$, $a_2 = \boxed{\quad}$ である。2つの曲線の共有点の個数は, $a < a_1$ のとき $\boxed{\quad}$ 個, $a_1 < a < a_2$ のとき $\boxed{\quad}$ 個, $a_2 < a$ のとき $\boxed{\quad}$ 個である。

$a = \frac{1}{4}$ のとき, $y = f(x)$ と $y = g(x)$ の共通の接線は $\boxed{\quad}$ 本あり, これらの接線の傾きの最大値は $\boxed{\quad}$, 最小値は $\boxed{\quad}$ である。 [北里大]

$x^2 + a = x^3 - x$ とし, $x^3 - x^2 - x = a$ とし $F(x) = x^3 - x^2 - x$ と $G(x) = a$ 交点を考える。 $\boxed{3x^2 - 2x - 1 = 0}$

$F(x) = 3x^2 - 2x - 1 = (x-1)(3x+1)$ となり 9つの方程式をかくと



$x = -\frac{1}{3}, 1$ で極値とり

その値は

$$F\left(-\frac{1}{3}\right) = \frac{5}{27} \text{ (極大値)}$$

$$F(1) = -1 \text{ (極小値)}$$

このとき $G(x) = a$ との共有点は 2つか 3つか

$$a_1 = -1, a_2 = \frac{5}{27}$$

$a < a_1$ のとき 1個, $a_1 < a < a_2$ のとき 3個, $a_2 < a$ のとき 1個

$$f(x) = x^2 + \frac{1}{4}, g(x) = x^3 - x$$

$$f'(x) = 2x, g'(x) = 3x^2 - 1$$

接点と $f(x)$ のものは $(t, t^2 + \frac{1}{4})$, $g(x)$ のものは $(s, s^3 - s)$ とすると

その接線は

$$y = 2t(x-t) + t^2 + \frac{1}{4} \rightarrow y = 2tx - t^2 + \frac{1}{4} \quad \text{①}$$

$$y = (3s^2 - 1)(x-s) + s^3 - s \rightarrow y = (3s^2 - 1)x - 2s^3 \quad \text{②}$$

$$\text{①, ②が同じであるから } 2t = 3s^2 - 1, -t^2 + \frac{1}{4} = -2s^3 \text{ すなはち } t = \frac{3s^2 - 1}{2} \text{ である}$$

$$s \text{ の方程式をつくると } -\left(\frac{3s^2 - 1}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} = -2s^3 \text{ 整理して } 9s^4 - 8s^3 - 6s^2 = 0$$

$$s^2(9s^2 - 8s - 6) = 0 \text{ から } s = 0, \frac{4 \pm \sqrt{70}}{9} \text{ とあるので 3本の接線がある。このとき}$$

$$3s^2 - 1 = \frac{59 \pm \sqrt{70}}{27}, -1 \text{ であるから } \frac{13}{9} \text{ 大値は } \frac{59 + \sqrt{70}}{27} \text{ 小値は } -1$$